

工事施工の創意工夫について

地区名 島田地区
 会社名 株式会社 グロージオ
 監理技術者 塩澤 潤
 技術者番号 86326

- 【工事名】** 令和元年度 大井川神座地区周辺整備工事
【発注者】 国土交通省 中部地方整備局 静岡河川事務所
【工事場所】 島田市向谷地先 ～ 神座地先
【工期】 令和元年 7月 17日 ～ 令和2年 3月 27日
【工事内容】

区分	工種	種別	細別	単位	数量			
築堤・護岸	河川土工	掘削工	掘削(土砂)(流用土)	m3	250			
			盛土工	路体(築堤)盛土	m3	20		
				盛土(採取土)	m3	1,200		
				積込(ルーズ)	m3	5,400		
				土砂等運搬	m3	5,390		
		盛土工(ICT)		路体(築堤)盛土	m3	4,000		
		護岸基礎工	基礎工	法面整形工	法面整形(盛土部)	m2	650	
				プレキャスト基礎 C	m	50		
				法覆護岸工	護岸付属物工	プレキャスト縦帯コンクリート	m	50
				ふとんかご	m	50		
				小口止め	箇所	1		
		羽口工	根固めブロック	石積(張)工	石張(法面部・上段)	m2	499	
				石張(平場部・上段)	m2	85		
				ストーンブロック5t型 支給品	個	139		
				吸出防止材	t=10mm 0.5tf/m以上	m2	414	
根固め工	根固めブロック工			根固めブロック製作・運搬・据付	式	1		
構造物撤去工	構造物取壊し工	連節ブロック撤去	m2	648				
		コンクリート構造物取壊し	m3	365				
		かご撤去工	式	1				
		運搬処理工	殻運搬・処理 Co殻無筋	m3	359			
		廃プラ運搬・処分	m3	8				
仮設工	瀬替工	現場発生品運搬	式	1				
		瀬替①②	式	1				
		土留・仮締切工	締切盛土	式	1			
		交通管理工	交通誘導整備員B	人日	40			

【施工箇所】



【創意工夫】

①環境に配慮した施工

内容 ・根固めブロック製作において、コンクリート打設および型枠脱型時に発生する残コンが直接高水敷に飛散しないように型枠の下にブルーシートを敷き施工をした。

結果 ・型枠下にブルーシートを敷くことにより、施工で発生する残コンをブルーシート上で適正に処理することができ環境に配慮することができました。



ブルーシート設置状況

②安全の見える化

内容 ・当工事で該当する作業内容おいての安全対策、対応を見える化(安全掲示物)として作成し作業員の目につく場所に掲示しました。

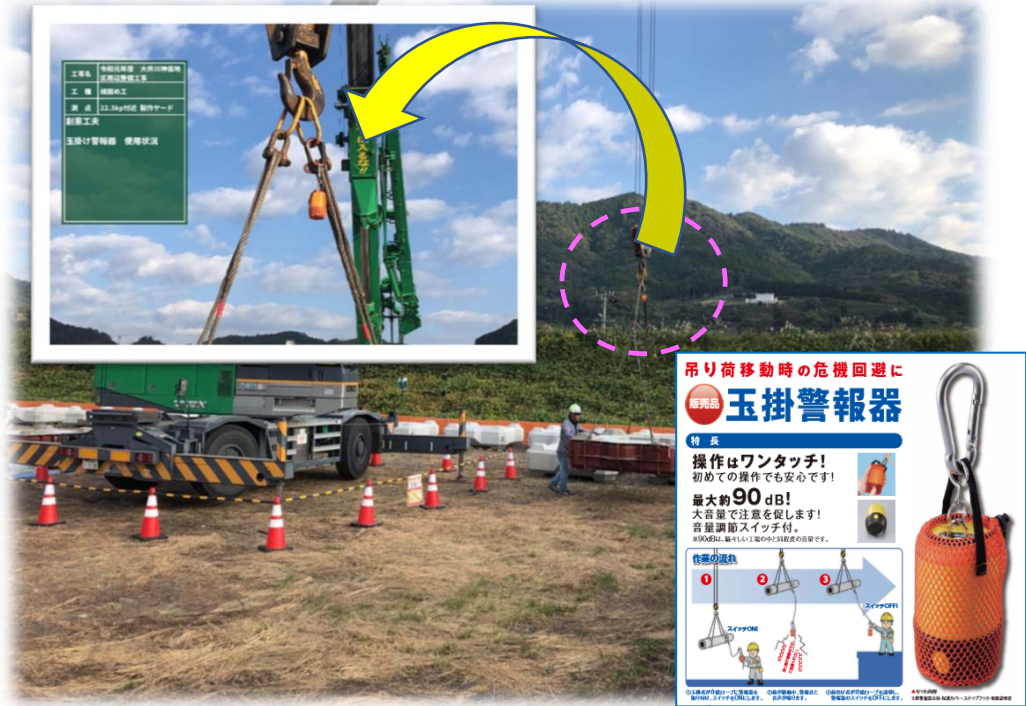
結果 ・朝礼広場の見やすい箇所に当工事で該当する内容を掲示することにより、作業員の意識高揚に繋がったのではないかと思います。



③玉掛警報器の使用

内容 ・クレーン作業時(吊り作業)に、玉掛警報器を使用することで、音声と警告音で吊り作業をしていることを知らせ、作業員が吊荷直下への立入を防止しました。

結果 ・施工中はどうしても下を向いて作業することが多い為に、吊り作業時に音を出すことによって、作業員の意識を一度上に向かせるにより、吊荷がどこの位置にあるか確認することができ、また吊荷直下への立入禁止という面でも注意喚起として大変良かったと感じ作業員からの評判も良かったです。



④デジタル重量計の使用

内容 ・袋詰め玉石の製作にあたり、専用の製作用型枠を使用することにより、出来上がった袋詰めはほぼ指定されている重量にはなるが、実際の重量を確認するにあたり、ハンディコスモ(電子吊り秤)を使用し重量確認を実施した。

結果 ・専用の製作用型枠を使用して詰め材をバックホウにて投入し製作するが、投入具合でどうしても重量のバラツキがあり、実際規格の重量なのか判別ができないが、電子吊り秤を使用して重量測定をすることにより、重量が確認でき、すべての製作品が規格をクリアしていることの証明ができました。



⑤過積載防止対策(ポータブル重量計)

内容 ・コンクリート殻運搬にあたり、過積載防止対策としてポータブル重量計を使用して、重量確認を実施した。

結果 ・通常の土砂運搬なら重量測定後、ダンプトラックに過積載防止ラインを明示し対策を講じますが、コンクリート殻ということで、殻の大きさや空隙もその都度異なる為ので毎回実施することで重量確認ができ、過積載がなく運搬することができました。



⑥防塵対策(場内散水)

内容 ・当現場施工箇所付近は、グランドゴルフ場やサッカー場、また散歩で堤防道路を利用する地元住民の方がいます。生コン車やダンプトラック等の走行にて巻き上がる砂煙や埃を、散水車を使用して防塵対策としました。

結果 ・河川工事では特に冬場は風が強いので、生コン車やダンプトラック等の走行時はもとより、その日の風の状況に応じて出来る限り埃がたたないように気を配り場内散水を実施した結果、地元住民からの苦情もなく工事を完了しました。



【最後に……】

今回の工事は工期が非常に厳しい工事であった。施工箇所周辺は井戸水を農業などで使用している方が多く、その井戸枯れ対策及び対応に非常に時間を取られてしまい、また工期の延長が出来ない中で、発注者との打合せにより、断面変更等の対応により工期内完成を目指しました。

護岸工事の着手が井戸枯れ対策後の1月末からの施工になり厳しい工程状況ではあったが、下請業者との打合せを密に行い施工を進めました。

このような状況の中で、上記内容の創意工夫の実施により、品質、安全、地域への配慮を心掛け現場が完成できたことは、作業員全員の意識があつてのことだと思えます。

また、現場周辺の住民の皆様には、工事に対してご理解とご協力いただき、工事が円滑に進められたことに本当に感謝しています。